

セグメント情報の開示イメージ（修正案）

○組み合わせ例
【例①】

科目	部 門					
	(何) 大学	(何) 短期大学	(何) 高等専門学校	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校等	病院	その他
教育活動収入計						
教育活動支出計						
教育活動収支差額						
教育活動外収支差額						
経常収支差額						
特別収支差額						
基本金組入前当年度収支差額						
基本金組入額合計	△	△		△	△	△
当年度収支差額						

○論点②各案との対応

<p>大学・短期大学・高等専門学校：（案 1）学校毎にセグメントを立てることを必須とする （メリット） 学校毎の財務状況が分かり、ステークホルダーにとって学校ごとの運営状況の理解に役立つ （デメリット） 経営状況が広く社会に公開され、閲覧者に数字だけで誤った判断がされることによる誤解を招きかねない</p> <p>病院：（案 1）独立したセグメントを立てる （メリット） 附属病院の財務状況が分かり、病院経営の健全性の理解に役立つ （デメリット） 附属病院の経営状況が広く社会に公開され、数字だけで判断されることにより誤解を招きかねない 医・歯学部及び附属病院の教員人件費について勤務実態を適切に表す按分基準の設定、按分作業が必要となり、実務的な負担が生じるおそれがある</p>

【例②】

科目	部 門				
	(何) 大学	(何) 短期大学	(何) 高等専門学校	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校等	その他
教育活動収入計					
教育活動支出計					
教育活動収支差額					
教育活動外収支差額					
経常収支差額					
特別収支差額					
基本金組入前当年度収支差額					
基本金組入額合計	△	△		△	△
当年度収支差額					

<p>大学・短期大学・高等専門学校：（案 1）学校毎にセグメントを立てることを必須とする （メリット） 学校毎の財務状況が分かり、ステークホルダーにとって学校ごとの運営状況の理解に役立つ （デメリット） 経営状況が広く社会に公開され、閲覧者に数字だけで誤った判断がされることによる誤解を招きかねない</p> <p>病院：（案 2）独立したセグメントを立てず、「その他」に集約する （メリット） セグメントごとの運営状況について数字だけで誤った判断され、誤解を招くリスクが減少する 医・歯学部及び附属病院の教員人件費について勤務実態を適切に表す按分基準の設定、按分作業が不要となる （デメリット） 病院の運営状況が財務の面で把握できない</p>

【例③】

科目	部 門		
	大学・短大・高専	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校等	その他
教育活動収入計			
教育活動支出計			
教育活動収支差額			
教育活動外収支差額			
経常収支差額			
特別収支差額			
基本金組入前当年度収支差額			
基本金組入額合計	△	△	△
当年度収支差額			

<p>大学・短期大学・高等専門学校：（案 2）学校毎にセグメントを立てず集約可能とする （メリット） セグメントごとの運営状況について数字だけで誤った判断され、誤解を招くリスクが減少する （デメリット） 学校毎の運営状況が財務の面で把握できない</p> <p>病院：（案 2）独立したセグメントを立てず、「その他」に集約する （メリット） セグメントごとの運営状況について数字だけで誤った判断され、誤解を招くリスクが減少する 医・歯学部及び附属病院の教員人件費について勤務実態を適切に表す按分基準の設定、按分作業が不要となる （デメリット） 病院の運営状況が財務の面で把握できない</p>

※論点①については案 1 で統一して作表している